

松下幸之助の言葉

校 長 武井 正明

月刊誌「PHP」という雑誌がある。

私が自分に全く自信が持てず、人生のどん底だった時期、初めて投稿した自分の文章が掲載された本だ。嬉しかった…。あれは自分にとって、一条の光だった。

PHP には様々なジャンルで活躍する人たちの、人生を歩んでいく上での考えるヒントや姿勢のようなものが、いつも寄稿されてある。

毎号必ず掲載されているのが、松下電器（パナソニックホールディングス）の創始者であり、PHP 研究所を設立した松下幸之助の言葉である。

幸之助は生まれつき病弱であった。家も貧しかったため小学校も途中で退学している。そこから財を成すには血の滲むような努力があったことは想像に難くない。しかし、驚くことに幸之助は、貧乏・病弱・低学歴の3つを、自分が成功できた幸運として挙げている。

松下幸之助は94年の生涯の過程で、私たちに実に数多くの名言を遺した。私は氏から、生きる知恵やリーダーとしての訓えを、数多くいただいている。

幸之助の言葉から、私がいつも心に置いているのは…

「自分は運がいいと思うこと」「感謝の心は幸福の安全弁」

今、松下幸之助の「人」を大事にする会社経営が見直されている。私は氏の経営理念に共感することばかりである。

「自分は、吉田中学校で校長をさせていただけて、本当に運がいい」

「生徒、教職員の皆さんが頑張ってくれるからこそ、校長としての今がある。だから吉中生や先生方には、その分お返ししなければならない」

これは今の自分の、嘘偽りない本心である。

昨日、職場体験学習で吉中2年生がお世話になっているパナソニック工場を訪ねた。

通勤で会社の横を通るものの、中に入るのは初めて。担当の方が親切に対応してくださった。

従業員は全部で1300人を越える。この工場で作作しているのは部屋の照明、非常口の照明である。敷地の広さは東京ドーム4個分というから驚く。



職場体験初日、私はその後、笠原プレス工業、くいどころ里味、ローソン燕松橋店、スーパーマルイ吉田店を巡回した。上半期決算を控えた、この多忙な時期に吉中生を受け入れてくださった皆様、とても温かく迎えていただき、心から感謝申し上げます。

吉中2年生の皆さん、働くことの、ほんの一端を、しっかり勉強してきてください!!

私は今日も、取材に走ります!!